

# あなたの家は大丈夫？ わが家の耐震 4ステップ

地震が起きたとき、家の倒壊を防ぐことが命を守ることにつながります。まずは無料の耐震診断から始め、次に紹介するステップで、あなたの家を地震に強い住まいにしましょう！

# 佐賀県でも 大地震が起ころる可能性はある！！

私たちの住む佐賀県でも、いつ「まさか」の事態が起こるか分かりません。ここではデータに基づいた、佐賀県の地震発生予想と、その可能性について紹介します。

## STEP 1 問診票でセルフチェック

「誰でもできるわが家の耐震診断」という問診票でチェックしてみましょう。問診票は各市町や県内各土木事務所配布しているほか、ホームページからもダウンロードできます。

ホームページはコチラ▶ [誰でも 耐震診断](#) [検索](#)

佐賀県安全住まいづくりサポートセンターでは、専門家が現地に出向き、無料で診断のお手伝いをしています。 [佐賀県 無料住宅相談](#) [検索](#)

## STEP 2 専門家による耐震診断

セルフチェックで今後の対策が必要だと判定が出た方は、専門家による耐震診断を受けましょう。診断にかかる費用の補助制度もありますので、詳しくはお住まいの市町へお問い合わせください。

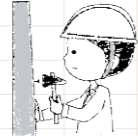
※補助制度実施市町は右下の各市町担当窓口をご参照ください。



## STEP 3 耐震改修工事で耐震性を確保

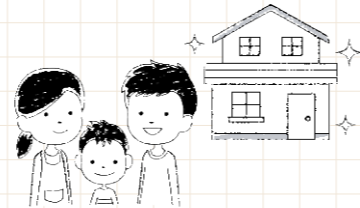
専門家の診断の結果、耐震性が不足していた場合は耐震改修工事を行います。この耐震改修工事の費用についても補助制度がありますので、詳しくはお住まいの市町へお問い合わせください。

※補助制度は鳥栖市と鹿島市で実施中。平成29年度より補助を開始する市町もあります。



## STEP 4 改修完了！安全な住まいへ

耐震改修を行うことで、地震に強く、安心して暮らせる家に！まずは耐震診断から始めましょう！



## 住まいの耐震診断・改修工事を支援します！

県では、住宅を所有する方々の負担を軽減し、住宅の耐震化を促進するため、市町と協力して、平成30年度まで耐震診断費用の補助率を臨時的に拡大しました。また、耐震改修工事費に対する補助も行っています。

### 佐賀県耐震診断費臨時補助事業（平成30年度まで）

<b>対象住宅</b>	昭和56年5月31日以前に建築された住宅 個人所有の住宅が対象です。（店舗等との併用住宅及び借家は耐震診断費用拡充の対象外）
<b>補助内容</b>	戸建て木造住宅の場合
<b>耐震診断費用</b>	<b>自己負担額</b>
現況図面がある場合：6万円	1万円
現況図面がない場合：9万円	1万5千円

補助率拡大中！！

国・県・市町が  
臨時的に5/6を補助  
通常2/3の補助

※戸建て木造住宅以外の住宅については、市町によって対象となる住宅や補助額等が異なります  
※診断は、佐賀県木造住宅耐震診断登録建築士に依頼することが条件です

### 耐震診断の結果、耐震性が不足していた場合

耐震性を確保するための耐震補強工事の費用補助制度があります。

※補助制度は鳥栖市と鹿島市で実施中。平成29年度より補助を開始する市町もあります。

耐震補強工事の費用に対して、23%を補助

例 工事の費用が150万円の場合、**34万円**を補助

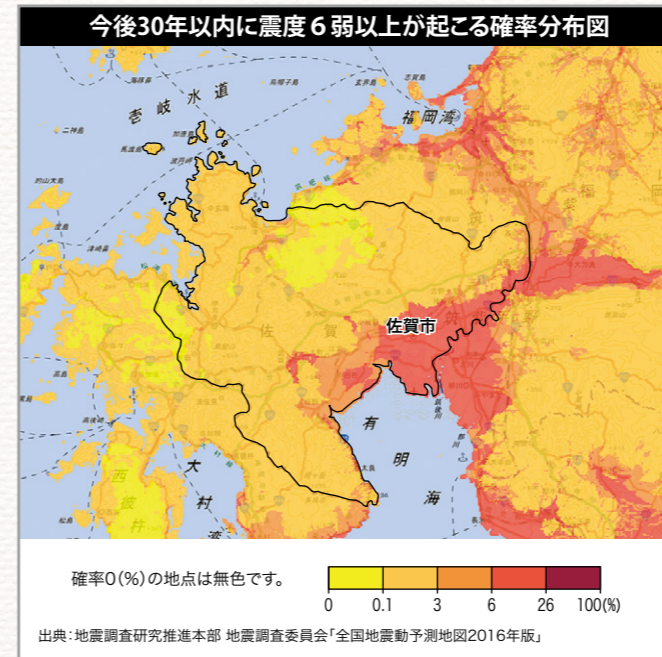
詳しくは、各市町担当窓口へお問い合わせください。（平成28年9月末時点）

耐震診断臨時補助を実施する市町	
佐賀市	建築指導課 ☎0952-40-7170
唐津市	建築住宅課 ☎0955-72-9139
鳥栖市	建設課 ☎0942-85-3600
武雄市	建設課 ☎0954-36-2503
鹿島市	都市建設課 ☎0954-63-3415
嬉野市	建設課 ☎0954-42-3311
基山町	建設課 ☎0942-92-7963
耐震診断補助をしている市町	
伊万里市	都市政策課 ☎0955-23-2464
有田町	建設課 ☎0955-46-5615

※市町によって、補助内容、募集期間、補助限度額など、取り扱いが異なる場合があります。

[佐賀県 耐震 補助制度](#) [検索](#)

☎ 建築住宅課 ☎0952(25)7165  
✉ kenchikujuutaku@pref.saga.lg.jp



### 「今後30年」＝「明日」かもしれない

政府の地震調査研究推進本部が今年6月に公表した「全国地震動予測地図2016版」（平成28年1月1日時点）によると、今後30年以内に建物の倒壊がはじまるといわれる震度6弱以上の強い揺れに見舞われる確率が「0%」という場所は、日本には1カ所もありません。また、この予測結果を市役所等がある代表地点で比較した場合、佐賀市は8.2%であったのに対し、実際に今年4月に最大震度6強の地震が起きた熊本市は7.6%でした。

これまで地震の少なかった佐賀県ですが、いつ大地震に襲われてもおかしくないのです。

※一見すると低く感じてしまいがちな地震の発生確率ですが、地震調査研究推進本部によれば、3%以上で「高い」、0.1%から3%未満でも「やや高い」という評価がされています。

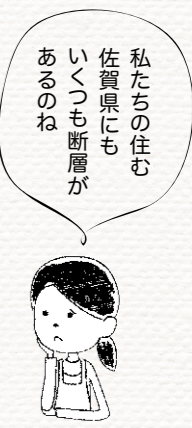


### 佐賀県および周辺の主な断層

左に示されているのは、もし活動すれば県内に大きな影響が及ぶ可能性があると考えられる断層です。平成17年に起きた福岡県西方沖地震の際に、みやき町で震度6弱の強い揺れが観測されたように、遠くにあるように見える県外の断層で起きる地震で、大きな影響を受けることもあります。

また、この図に記載されている以外にも、まだ存在が知られていない断層が近くを通っていることも考えられます。

※断層とは、ある面を境に両側の地層にずれ（くい違い）の見える地質現象です。



強い揺れに見舞われる確率がゼロという場所は、日本には存在しません。地震に対する備えを怠らないことが大切です。

☎ 消防防災課 ☎0952(25)7026 ✉ shouboubousai@pref.saga.lg.jp